



浦安駅周辺 再開発

0.7ヘクタール 猫実4丁目

住民主体のまちづくりを!

週刊 市議会報告

日本共産党

2017年1月30日

第1401号

【発行】

日本共産党

浦安市議団

☎ & FAX

350-1243



市議会議員
元木美奈子

入船 4-37-14

☎ 355-8526

minamonton@

jcom.home.ne.jp



市議会議員
美勢麻里

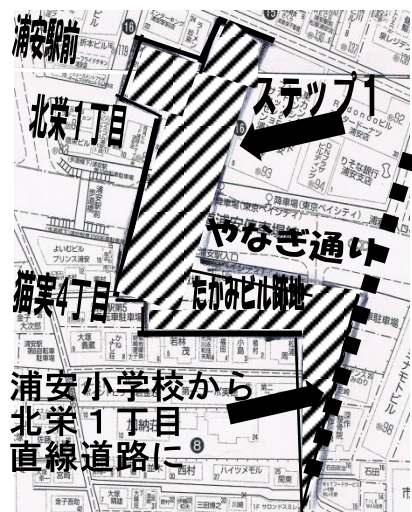
北栄 2-3-16-203

☎ 354-9269

m5mise@jcom.

home.ne.jp

浦安駅周辺の再開発は1990年から浦安駅周辺再生備事業として開始され、今年で27年目になります。日本共産党は検討段階の把握に努め、議会でも取り上げてきました。現在、猫実4丁目側のくい違い交差点の道路を解消することで事業が進められています。現段階での検討状況を報告いたします。



2007年3月に策定された浦安駅周辺まちづくり取り組み方針には、北栄1丁目の千葉銀行・市営第1駐輪場、そしてやなぎ通りを挟み猫実4丁目の元たかみビル・第4駐輪場・元佐藤石油跡地の市有地周辺一帯を含む約0.7ヘクタールの区域を対象に、段階的にまちづくりをするとして「ステップ1」構想が打ち出されています。(図斜線箇所)

黒塗りの検討報告書

2015年度は、ステップ1の第1段階として、やなぎ通り南側の猫実4丁目街区の道路について、くい違い交差点の解消(図太点線)、歩道の確保、バス停の集約化などの改善をするとして調査検討をし、警察と



黒塗りの報告書
(A3用紙全て黒塗りのページも)

の協議も進められています。

2015年度の報告書を開示請求したところ、ほとんどのページが黒塗りとなつていますが、くい違い道路やバス停の集約化だけでなく、一方で、同地区内に公共施設や分譲マンションなどが入った超高層ビル建設の検討なども行ったことが示されています。(位置図や総事業費の検討状況は裏面に掲載)

事業を進めるうえで、周辺住民や利用者・土地所有者などの意向を把握することが重要です。検討段階からすみやかに情報公開することが求められます。

地域住民の声を 活かしたまちづくり

12月議会、日本共産党の一般質問から市民への情報提供は「まちづくりだよりで情報共有していく」とすると答えるにとどまり、直接的な影響を受けることになる近隣住民への説明会が予定されていないことがわかりました。

対象地域の近隣には、浦安小学校や学童、若草認定こども園があります。住民から、くい違い道路が解消されると交通量が増えるのではないかと懸念する声が出ています。

これまで、猫実4丁目の車道は、やなぎ通りに抜ける裏道として、タクシーなど車のスピードが速く安心して歩けないと住民からの声があり、タクシー協会へ空車で駅の待機場所への抜け道として利用しないよう、交通安全課から強く要請しています。



←2014年度基本構想図抜粋

2015年度位置図抜粋→



浦安駅周辺第一地区
(1期)0.61ha

くい違い道路整備

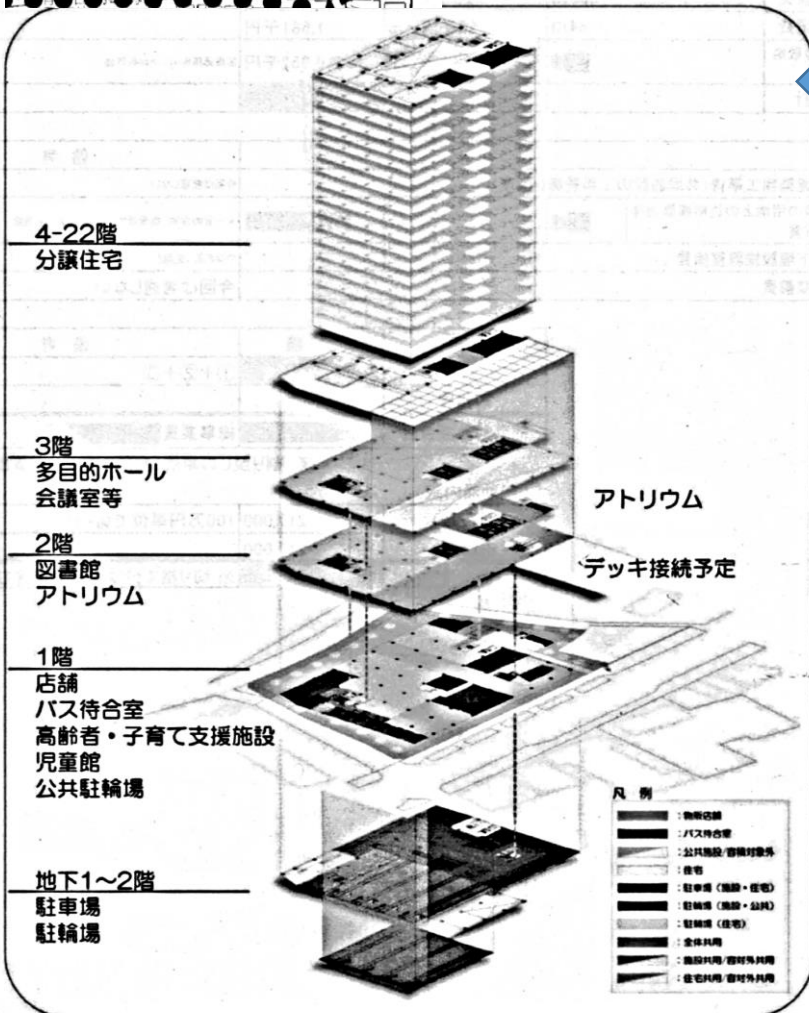
土地区画整理事業として検討

区域面積0.61ha

総事業費5.41億円

支出		収入	
公共施設整備費	0.33 億円	都市再生 区画整理補助 3.56 億円	国庫補助 1.78 億円
移転・移設費	4.04 億円		
その他工事費	0.24 億円		
調査設計事務費	0.80 億円	重点地区 補助率 1/2	市浦負担 1.78 億円
総事業費 5.41 億円		市単独費	1.85 億円

猫実4丁目街区
再開発施設建築物への
導入機能の検討



■事業資金の構成

支出金 182.1億円		収入金 182.1億円	
調査設計計画費	11.6億円	補助金	47.8億円
土地整備費・補償費	16.5億円	保留床処分金	134.3億円
工事費	130.9億円	床価格内訳 153.4億円	
事務費・借入金利	14.6億円	商業施設	1.7億円
		バス待合所	1.3億円
		住宅	67.4億円
		公共施設	37.0億円
		駐車・駐輪(施設)	31.4億円
		駐車・駐輪(住宅)	14.5億円
		従前資	19.1億円